

みんなで創ろう！人が輝く元気とやま



県広報 とやま

10

2017 OCTOBER
NO.477

ビーチボール発祥の地、朝日町。来
年本県で開催される「ねんりんピック
富山2018」でビーチボールは競
技種目に初めて採用され、この朝日
町で熱戦が繰り広げられます。町内
ではたくさんのチームがしのぎを削
るなか、^{おおやま}大家庄地区の男性チーム「大
家庄愛好会」と女性チーム「大家庄
スマイル和み」は、今年7月に同町で
開催されたビーチボールの全国大会
「翡翠^{ひすま}カップ」で優勝した強豪です。

「地区ではもともとバレーボールが
盛んで、それを基盤に、いつでも、
どこでも、だれでも、手軽に楽しめ
るスポーツとしてビーチボールチーム
が結成されました」と振り返る大
家庄愛好会の大井光男さん。昭和59年
に同町で開催された第1回全国ビー
チバレーボール親善交流会出場から
受け継ぐ伝統です。大家庄スマイル
和みの吉田陽子さんは「昭和55年頃、
バドミントンクラブとして発足し、
その後、ビーチボールに移行しまし
た。当時、主婦がスポーツをするの
は簡単ではなかったと聞いています。
先人の苦労があったから、私たちは
今、ビーチボールを楽しむことがで
きているんです」と力を込めます。

現在、両チームを含め、30代から
70代までの男性30名、女性26名が、
週2回、約1時間半の練習を欠かし
ません。「ビーチボールだけではなく、
いろんな悩みをみんなに相談できる
のがチームの良さですね」と笑顔を
見せる吉田さん。「男女とも幼なじみ
が多く、お互いのことがわかってい
るので、チームワークは抜群。このつ
ながりが、地域の力にもなっている」
と大井さんは胸を張ります。



週2回の練習に励み、抜群のチームワークで勝利を積み重ねてきた



ビーチボールが地域の力に

「大家庄愛好会」「大家庄スマイル和み」

「大家庄愛好会」代表の大井光男さん（左）

「大家庄スマイル和み」代表の吉田陽子さん

「全国の仲間を迎え、交流したい。今から楽しみです！」



第31回全国健康福祉祭とやま大会「ねんりんピック富山2018」は平成30年11月に本県で開催。詳しくは、県政Q & Aコーナーをご覧ください。

佐藤さんご一家
(立山町)

元気いっぱい！
とやまにぎやかファミリー

佐渡さんご一家
(朝日町)



パパママコメント

四兄弟！

機ただしくにぎやかな毎日です。



パパママコメント

わんぱくで元気な五兄妹！

にぎやかな毎日家族で楽しんでいます。

* 第4子以上のお子さんが生まれたご家庭をご紹介します *

とやま
Made in Toyama
物語

自分の感性で作る、世界に一つの木の時計

10月は「とやまの木づくり推進月間」。天然木のフローリングやパネルなど、住宅用木製品を製作する元尾商店では、文字盤に富山県産のスギを使った「手作り時計キット」を開発した。工場から出る端材を利用し、形状からゴロゴロ、サラザラ、モジャモジャなどと名付けた5種類のパーツをセット。切ったり貼ったり磨いたりして、世界で一つしかないオリジナルの時計を作ることができる。「木の良さ、面白さをもっと知ってもらいたい」と^{むぎた}菱田さんは思いを託す。



オリジナルの壁掛け時計。同社のほか、同社ホームページのネットショップなどで購入できる。10/28(土)に富山県ものづくり総合見本市(テクノホール)で、ワークショップを開催。



株式会社元尾商店(富山市)
開発担当 菱田志織さん

特集

ものづくり
産業の振興

優れた技術や地域の魅力を国内外に発信

富山県は、アルミをはじめとした金属製品、機械・ロボット、電子部品、そして医薬品などの多様な産業集積があり、日本海側屈指の「ものづくり県」です。

近年、グローバル競争の激化やIoT^(※1)等の活用による第四次産業革命^(※2)の進展など、ものづくり産業を取り巻く環境が大きく変化しています。

本県ものづくり産業がさらなる成長と発展を遂げるためには、海外の成長エネルギーを積極的に取り込んでいくことが重要です。今後とも、高度なものづくり技術を国内外に一層強く発信していきます。



10月26日に開館するテクノホール新展示場(西館:写真右)

※1 「Internet of Things」のことで、あらゆる物がインターネットでつながることによって実現する新たなサービスやビジネスモデル等のこと。
 ※2 蒸気機関の発明による第一次、電気の活用による第二次、コンピューター等の活用による第三次、第四次産業革命はIoT、ビッグデータ、ロボット、人工知能(AI)等の活用による技術革新をいう。

富山産業展示館(テクノホール)新展示場の開館

テクノホールは、昭和58年の開館以来、県内の産業・情報・文化の発信拠点として大きな役割を果たしてきました。しかしながら、開館から30年以上が経過し、産業展示会の広域化や大型化、催事の多様化・複合化が進む中で、施設の展示面積や機能が、ニーズに十分応えられない状況にあります。そこで県と富山市の支援のもと、ビジネスユースに重点をおき、展示会と会議等の複合催事にも対応できるよう整備した「多機能型」新展示場が、10月26日に開館します。

新展示場の面積は3634㎡で、現展示場と合わせると約7000㎡となります。ホールには移動式間仕切りを導入し、催事規模に応じて分割して利用できるほか、吸音効果もある膜天井を設置し、会議やレセプションにふさわしい落ち着いた空間をつくりだしています。また、2つの展示場をつなぐホワイエ(1091㎡)は、ブース等の設置など多くの用途にご利用いただけます。



レセプション開催時のイメージ

また、県では、新たにシャトルバス運行経費に対する助成制度を設け、催事の開催を支援します。展示会をはじめ、見本市、商談会などにぜひご利用ください。

富山のものづくりの魅力がわかるイベントなんだね!



富山県ものづくり総合見本市2017の開催

新展示場のオープニングイベントとして、県が中心となり、10月26日(木)～28日(土)の3日間、「富山県ものづくり総合見本市2017」を開催し、本県の誇るものづくり技術や製品を広く発信するとともに、海外販路の開拓を支援します。国内外から総勢430社を超える出展者が集い、機械・電子からプラスチック、アルミ、繊維、医薬品、伝統工芸やクリエイティブ産業など幅広い分野で一堂に展示。また、見本市にあわせ、多数のイベントも開催します。

さらなる飛躍に向けて

今後とも、本県の優れたものづくり技術や製品、地域の魅力を国内外に発信していくとともに、本県の強みであるライフサイエンス、高機能素材、ナノテクなど分野の垣根を越えた技術基盤の強化に取り組めます。さらに、IoTやAIなどの技術の普及により、生産性の向上や新たな付加価値の創出につなげ、「様々な成長産業が多面的に展開する富山県」への飛躍を目指します。



前回「富山県ものづくり総合見本市2015」の様子

主な一般来場者向けイベント

●全日本製造業コマ大戦

○日時/10月28日(土)10時15分～15時30分
 ○場所/テクノホール西館(新館)メインステージ他
 県内企業や学校が誇りと技術をかけて製作したコマを持ち寄り、1対1で戦う「全日本製造業コマ大戦」を開催します。



●ものづくり教室

○日時/10月28日(土)10時～16時
 ○場所/テクノホール東館(既存館)
 親子で楽しめるものづくり体験。子どもたちがものづくりの楽しさを体験できるプログラムを用意しています。(要事前申込)



●ロボットクリエイター

高橋智隆氏トークショー

○日時/10月28日(土)13時～14時
 ○場所/テクノホール西館(新館)メインステージ
 「ロボット時代の創造」を演題に、ロボット電話「ロボホン」やロボット宇宙飛行士「キロボ」の制作で有名な、ロボットクリエイターの高橋智隆氏を講師に迎えトークショーを開催します。



他にも多くのイベントを開催します。詳しくはホームページでご確認ください。

○問合せ先
 富山県ものづくり総合見本市実行委員会
 TEL.076-482-3224

富山県ものづくり総合見本市 検索

テクノホール

〒939-8224 富山市友杉1682 TEL.076-461-3111 FAX.076-461-3113 テクノホール 検索

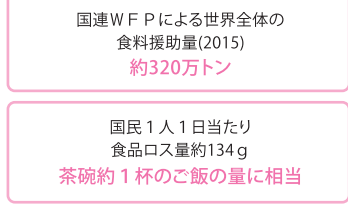
平成28年5月に本県で開催されたG7富山環境大臣会合。そこで採択された「富山物質循環フレームワーク」には、食品ロス・食品廃棄物の削減推進や、食品廃棄物の効果的なりサイクルなどが盛り込まれました。これを受け、県では、食品ロス等削減に向け、全国のモデル県として県民運動に取り組んでいます。

食品ロスとは

「食品ロス」とは、本来食べられるのに関わらず廃棄されているものです。国の推計によると、日本では年間約2775万トンの食品廃棄物が排出され、このうち、約22%にあたる約621万トンが食品ロスと試算されています。



出典：農林水産省「食品ロスの削減とリサイクルの推進」



資料：WFP、総務省人口推計(平成26年度)

日本の食料自給率(カロリーベース)は約4割と先進国の中でも最低水準であり、食料の約6割を海外に依存しているにも関わらず、大量の食品ロスを生み出しています。また、食品廃棄物は大量の水分を含み、焼却処分する際には大量の化石燃料が必要となることから、環境負荷も大きく、地球温暖化にもつながっています。

県内の食品ロス等実態把握調査の結果

県ではまず、平成28～29年度にかけて、県内における食品ロス等の実態を把握するため調査したところ、県全体の食品廃棄物等の量は推計で約17万トン、うち食品ロスは約4万トンという結果となりました。家庭から出る食品ロスのうち、「手付かず食品」が69%、「食べ残し」が31%と推計され、全国に比べて前者の割合が高い傾向がわかりました。そこで、一般家庭における冷蔵庫等の在庫管理を徹底していただくようお知らせしているところ



捨てられた手付かずの食品例

	事業系廃棄物	家庭系廃棄物	計
食品廃棄物等の量	8.2万トン	8.8万トン	17.0万トン
うち食品ロスの量	1.6万トン	2.7万トン	4.3万トン

削減に向けた推進体制の整備

食品ロス等は食品の製造・流通・消費の各過程において発生しており、削減には幅広い関係者の理解と協力が必要です。そこで県では、県民、食品関連事業者や消費者の関係団体、行政などが一丸となって食品ロス等の削減に取り組む機運の醸成を図り、県全体で削減運動を展開していくため、平成29年5月に「富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議」を設置しました。この県民会議を核として、

とやま食ロスゼロ作戦

使いきり食べきり すっきりエコライフ

食品ロス等の削減を推進する県民運動の愛称が「とやま食ロスゼロ作戦」、標語が「使いきり食べきり すっきりエコライフ」に決まりました。

県政 Q&A



Q 県では、第31回全国健康福祉祭とやま大会「ねんりんピック富山2018」の開催に向け、どのような取組みを進めているのか、お聞かせください。

A 「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる健康と福祉の総合的な祭典です。例年、全国から約1万人の選手・役員が参加します。

平成30年の11月3日～6日に本県で開催される「とやま大会」では、県内全市町村において、史上最多となる27種目を実施し、うち「ビーチボール」「カローリング」の2種目は初めて競技種目となります。

現在、大会に向けた機運を高めるため、広報キャラバン隊が、各地でPR活動を行っています。また、この11月8日には、「開催1年前イベント」を開催し、今年の開催県である秋田県から引き続き、大会旗のほか、本大会のテーマソングや体操を初めて披露する予定です。今後も広く県民をはじめ、全国の方々に情報を発信し、参加を呼びかけてまいります。

4Rの取組みを

食べ物への敬意・感謝の気持ちを忘れていませんか。県民一人ひとりが、削減のための4R(R1:Reduce※1+R2:Reuse※2)を意識し、まずはできることから始めましょう。

※1 リデュース(発生抑制)、リユース(有効活用)、リサイクル(再生利用)
※2 敬意

県民の皆さんが家庭・外食時にできること

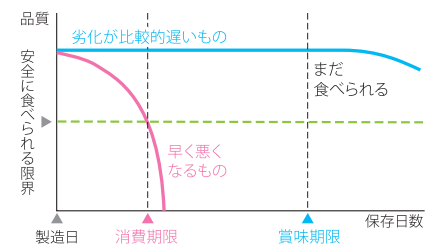
- 「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解する
- 買い物方法の見直し(買い過ぎない。必要な時に必要な分だけ購入する。)
- エコッキング(料理を作り過ぎない。食材を使いきる。)
- 食べきれない量の注文。残さず食べきる。
- 3015(さんまるいちご)運動の実践

消費期限・賞味期限の違い

消費期限
品質の劣化が早い食品に表示されている「安全に食べられる期限」。それを過ぎたものは、食べないほうが安全です。

賞味期限
品質の劣化が比較的遅い食品に表示されている「おいしく食べられる期限」。それを過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。賞味期限を過ぎた食品については、見た目や臭いなどで判断しましょう。

消費期限・賞味期限のイメージ



出典：農林水産省HP

県内おでかけ情報

富山県公文書館

開館30周年企画展
「災害にみる富山」

期間 開催中～11月3日(金・祝) ※会期中は休館日なし
時間 9:00～17:00
料金 無料

富山県公文書館は今年、開館30周年を迎えました。近年、日本各地で自然災害が頻発しているなか、今回の企画展は富山県の災害に焦点をあてます。当館所蔵の史資料をもとに、江戸時代から現代までの、洪水・地震・豪雪・火災などの災害の記録と復旧・復興に尽力した人びとの努力の跡をたどります。



○展示説明会
10月17日(火) 10:00～10:30 10月26日(木) 9:30～9:55
◎富山市茶屋町33-2 TEL. 076-434-4050

富山県公文書館 検索

高志の国文学館

開館5周年記念特別展
「宮本輝一人間のあたたかさ、生きる勇気と。」

期間 10月14日(土)～12月4日(月)
休館日 毎週火曜日 ※11月24日(金)は休館
時間 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
料金 一般500円(400円) 大学生400円(320円) 小中高生無料

デビュー作「泥の河」で昭和52年(1977)に太宰治賞を受賞、その翌年に「螢川」で芥川賞を受賞した宮本輝。今回開催する初の企画展では、「人間が生きること」とはどういうことなのか、人とは何か、生きるとは何か、という宮本輝作品に通底する人生に対する深い洞察について、その旺盛な創作活動によって生み出されてきた豊饒な作品世界をひもときながら、解き明かします。



◎富山市舟橋南町2-22 TEL. 076-431-5492

高志の国文学館 検索

富山県花総合センター

開園30周年記念
「秋を彩る花まつり2017」

期間 10月13日(金)～10月15日(日)
時間 9:00～16:30 料金 無料

開園30周年を迎えた富山県花総合センターでは、春・夏・秋の年3回、「花まつり」を開催しています。今回開催する「秋を彩る花まつり2017」は、ダリアやコリウスなどの草花が展示ホールを賑やかに彩ります。また、期間中は、生産者が花苗を販売し、花の特徴や育て方のコツを生産者から直接聞くことができます。



○寄せ植え体験コーナー
10月14日(土)・15日(日) 10:00～14:00～(当日受付可。30分前から受付)
◎砺波市高道46-3 TEL. 0763-32-1187

富山県花総合センター 検索

富山デザインウェブ2017 デザイン展

富山発のプロダクト(製品)デザインを紹介するイベントを開催します。

期間 11月13日(月)～11月26日(日) ※会期中は休館日なし
料金 無料 時間 9:00～17:00
場所 富山県産業高度化センター展示室(高岡市オフィスパーク5)



○企画展「新しいスキームデザイン」展
デザインで富山を元気にするプロジェクト「富山もよう」など、デザインの新しい取り組みを紹介します。

○富山デザインコンペティション2017作品展
テーマは「道具と生活」。新しい発想とデザインで1次審査を通過した12作品を展示します。

○とやまデザイン・トライアルワークショップ2017作品展
デザインを専攻する大学生が高岡銅器の技を用いて制作した真鍮鑄物を展示します。

◎デザインウェブ開催委員会(富山県総合デザインセンター内) TEL. 0766-62-0510 富山デザインウェブ 検索

県政の動き

最近の動き

- 8月 7 「海のあるスイス」先進地調査団の派遣(～13日)
- 26 富山県美術館全面開館
- 9月 4 富山県IoT推進コンソーシアム設立大会
- 8 県議会定例会(～27日)
- 16 食品ロス・食品廃棄物削減シンポジウムinとやま
- 30 県総合防災訓練(富山市、立山町)

- 今後の予定
- 10月 21・22 とやま環境フェア2017
 - 26 富山県ものづくり総合見本市2017(～28日)
 - 28 女性のためのがん対策フォーラム
 - 29 富山マラソン2017
 - 11月 4・5 越中とやま食の王国フェスタ2017～秋の陣～(テクノホール)
 - 8 ねんりんピック富山2018開催1年前イベント
 - 12月 2 地域包括ケア推進県民フォーラム(砺波市)
 - 30 30歳の同窓会inとやま

TOPICS

富山米新品種「富富富」を一足早く限定販売!

平成30年秋の本格デビューに向け、今年実証栽培を行った「富富富」を、まず県民の皆様へに数量限定で販売します。皆さんぜひおためしいただき、感想をお聞かせください。



- とやま(富山駅前C1C 1F)
10月8日(日)～平成30年4月(なくなり次第終了) 10:00～20:00 休/第3火曜日
2kg入り袋 40袋/日(1人1袋まで)、2合パック 80パック/日(1人2パックまで)
- 越中とやま食の王国フェスタ2017～秋の陣～(テクノホール)
11月4日(土)・5日(日) 10:00～16:00(数量限定で販売) ※試食あり
詳しくはホームページでご確認ください。

◎問合せ先 県農林水産企画課 TEL. 076-444-3271 富富富 検索

国際北陸工芸サミット

「THIS IS 工芸-伝える。創る。」をテーマに、多彩なプログラムを通じ、北陸から世界へ「新しい工芸ムーブメント」を発信します。



- 展覧会「ワールド工芸100選」※観覧料必要
 - 富山県美術館 11月16日(木)～平成30年1月8日(月・祝) 休/毎週水曜日、祝日の翌日、年末年始
 - シンポジウム 入場無料(申込多数の場合は抽選)
 - 富山県美術館 11月18日(土) 14:30～17:30 定員/150名
 - ウイング・ウイング高岡 11月23日(木・祝) 14:00～17:30 定員/400名
- 申込締切 10月20日(金) 必着
◎問合せ先 県文化振興課 TEL. 076-444-3436 国際北陸工芸サミット 検索

県政クイズ

○の中に言葉を入れてください。(ヒントは「特集1」にあります。)
テクノホール新展示場のオープンにあわせ、「富山県○○○○総合見本市2017」を開催します。



正解者の中から10名の方に、**加積りんご『ふじ』(2.5kg箱)をプレゼント** ※発送は11月中旬以降となります。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま10月号クイズ係」 ● 締切10月31日(火) 必着

元気レシピ

サケと野菜のみそバター包み



サケにいろいろな野菜を加えた、子どもたちにも食べやすい一品です。風味づけに立山町特産の長ねぎをプラス。長ねぎに含まれるアミノ酸は、疲労回復の効果もあります。

- 【材料・分量(2人分)】 1人分約194kcal
- 生サケ……………2切れ
 - キャベツ……………40g
 - 玉ねぎ……………40g
 - にんじん……………30g
 - しめじ……………30g
 - 長ねぎ……………30g
 - バター……………5g
 - 塩・コショウ……………少々
 - みそ……………大さじ1
 - 酒……………小さじ2
 - 砂糖……………小さじ1

作り方 ①キャベツは1口大、玉ねぎは薄切り、にんじんは千切り、しめじは石づきをとり小房に分け、長ねぎは斜めの小口切りにし、サケに軽く塩・コショウをする。②クッキングシートの中央に①の野菜をおき、サケをのせる。混ぜたAをサケの上にかけてバターをのせ、クッキングシートを包む。③②を耐熱容器にのせ、電子レンジ500Wで3分30秒加熱する。 (協力)立山町食生活改善推進協議会

富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。詳しくは **とやま健康ラボ** 検索

◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら
〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けし、県の各施設や市役所・町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しています。また、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。 **県広報とやま** 検索
平成29年10月8日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1-7) 編集協力(株)チューエツ
※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ホープ(TEL.092-716-1404)までお問い合わせください。

県政番組情報
●北日本放送「こんにちは富山県です」 毎週土曜9:30～9:45
●富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」 毎週土曜10:25～10:40
●チューリップテレビ「とやまメモリアルナイト」 毎週日曜21:54～22:00
●CATV「マナブくんとヤチャ博士のピックアップとやま」 平成29年度の今後の放送は、11月・1月・3月です。
●FMとやま「元気とやま情報スクエア」 月曜～金曜10:50～10:55